検討対象施設の概要

別紙１

こどもゾーン

家族連れを中心に安心して訪れることができ、未来を担う子供が遊べるゾーン。

こども図書館

（開設：昭和55年（築41年）、利用者数：209,624人）

機能	サービス
図書閲覧室 書庫（蔵書約20万冊）	・児童図書の閲覧・貸出 ・読書会、展示会等

課題
・施設が老朽化しており耐震改修も未実施である。 ・中央図書館と離れているため、親子連れなどにとって利便性が悪い。 ・親子で読書を楽しめるスペース等が不足している。

こども文化科学館

（開設：昭和55年（築41年）、利用者数：373,929人）

機能	サービス
展示室 プラネタリウム ホール（250席） 実習室、工作室、研修室等	・文化及び科学に関する資料のこどもへの観覧 ・こどものための音楽会、演劇会の開催等

課題
・施設が老朽化しており耐震改修も未実施である。 ・常設展示について20年以上大規模な更新がされておらず、魅力が低下している。

ファミリープール

（開設：昭和54年（築41年）、利用者数：117,653人）

機能	サービス
プール 更衣室、シャワー室、売店、食堂	・レクリエーション（プール）

課題
・施設が老朽化している。 ・来場者用の駐車場が不足している。 ・稼働期間に制約（夏季のみの利用）がある。

スポーツ・レクリエーションゾーン

多様化するスポーツ需要に対応するとともに、多世代がアクティブに活動・交流できるゾーン。

渝華園

（開設：平成4年（築29年））

機能	サービス
中国式庭園 回廊・あずまや・門等	・庭園

課題
・サッカースタジアム等整備事業（令和6年開業予定）に伴い、移転整備が必要。 ・「現在地に近い市内中心部」へ移転することを期待するとの重慶市の意向に一定の配慮が必要。

歴史ゾーン

広島城の築城から始まった広島の歴史を肌で感じてもらうことができるよう、歴史的な雰囲気を醸し出す中心的なゾーン。

文化芸術ゾーン

市民の文化芸術活動や優れた文化芸術鑑賞の拠点とするとともに、広島らしい文化芸術を国内外に発信するゾーン。また、中央公園の中間に位置するゾーンの立地特性を踏まえ、平和記念公園と広島城をつなぐゾーン。

中央図書館

（開設：昭和49年（築46年）、利用者数：397,031人）

機能	サービス
図書閲覧室 書庫（蔵書約120万冊） 自習室	・市民教養 ・調査研究 ・レクリエーション ・資料の閲覧・貸出 ・レファレンス ・読書会、展示会等

課題
・施設が老朽化しており耐震改修も未実施である。 ・入館者数が減少している。 ・閲覧スペースや書庫等が不足している。

映像文化ライブラリー

（開設：昭和57年（築39年）、利用者数：38,442人）

機能	サービス
ホール ビデオ、オーディオコーナー 試写試聴室 多目的研修室、収蔵庫	・日本映画や音楽資料等の収集・保存・上映 ・鑑賞会、講演会、講座等

課題
・施設が老朽化しており耐震改修も未実施である。 ・映像の視聴方法の多様化等により市民のニーズが変化し、ビデオコーナー等の利用者数が減少している。

水辺空間

市民や観光客等の来訪者が日常的に水に親しみ、くつろぐことのできる水辺づくりを推進するとともに、隣接するゾーンと一体となった利活用を推進することにより、「水の都ひろしま」の新たなシンボル空間を創出する。

（例：水辺を望むロケーションを生かし、景観に配慮した飲食施設やステージ、ベンチなどの設置、水上交通などが発着できる「川の駅」などの整備）

イベント・集客ゾーン

平和記念公園や水辺空間と一体となった緑豊かなオープンスペースを中心としたゾーンとするとともに、年間を通じて多様なイベントが開催され、若者を中心とする多くの市民や平和記念公園を訪れる観光客を引き付けるにぎわいとおもてなしの心が感じられるゾーン。

青少年センター

（開設：昭和41年（築55年）、利用者数：242,390人）

機能	サービス
ホール（629席） 楽屋、会議室、集会室、音楽室、レクリエーション室、実習室等	・青少年の自主活動の場の提供 ・研修会、講習会等

課題
・旧耐震基準で安全性に問題があり、建築後50年以上が経過し老朽化対策が必要。 ・ホールの稼働率が低く、利用者からは規模が過大等の理由で使い勝手が悪いとの意見がある。 ・調理設備や畳を有し、他の用途での使用が困難な部屋の利用が少ない。

※各施設の築年数は令和３年４月１日現在、利用者数は平成３０年度実績